

IPERC News Letter

千葉大学大学院看護学研究科附属
専門職連携教育研究センター

2020年度版

IPE研究拠点として専門職連携学の構築と 組織的な発展をめざす

▶ 第13回JAIPE学術集会開催

2020年10月3日(土)、4日(日)にIPERC兼務教員である千葉大学医学部
附属病院の朝比奈真由美特任教授を学術集会長として第13回日本保健医療
福祉連携教育学会(JAIPE)学術集会を開催します。

学術集会長ご挨拶

学術集会のテーマは「IPEカルチャーの醸成 ～他
職種への理解とリスペクトを育てる生涯学習～」です。
臨床前IPEの成果を実際の臨床現場で発揮するにはま
だまだ限界があります。学生や新人医療者が実際の現
場でベテラン医療者の中で対等のチームメンバーとして
コミュニケーションをとれるようにするためには、学習者側が未熟な技量を
向上させる努力をすることはもちろんですが、同時に学習現場である臨床現
場で各指導者間の良好なIP実践が行われていることが不可欠です。各指導者
は、自職種の学生のみを指導する(従来の実習指導形態)のではなく、指導
者同士も連携し、他職種の学生を指導する必要が生じてきます。そこに難し
さがありますが、それこそがまさに“IPEカルチャーの醸成”であり、“生涯学
習の実践”なのではないかと思います。学会の成功を目指し、皆様のご協力
をよろしくお願いいたします。



Topics

- ▶ 第13回JAIPE学術集会開催
- ▶ GIPEの実装に向けて
- ▶ IPE・IPW研修と地域貢献
- ▶ 亥鼻IPEの教育・研究

第13回 日本保健医療福祉連携教育学会学術集会

IPE/IPLカルチャーの醸成 ～他職種への理解とリスペクトを育てる生涯学習～

日 程: 令和2年10月3日(土) 13:00-17:00 / 4日(日) 9:00-16:00

会 場: 千葉大学亥鼻キャンパス めのはな記念講堂他

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1

U R L : <https://www.jaipe13.jp>

事務局: 千葉大学大学院看護学研究科附属専門職連携教育研究センター



▶ GIPEの実装に向けて

IPE国際拠点を目指した国際交流

千葉大学ENGINEプログラムの一環として、国際的なIPEプログラムの開発をすべく、カナダ、オーストラリア、アジア諸国の大学と協議を開始しました。

グローバルIPE実現に向け交渉

2020年2月1日～8日の日程で、オーストラリアのモナシュ大学とグリフィス大学のIPEプログラムを医学部、看護学部、薬学部、IPERCの教員が視察しました。

モナシュ大学とは、2020年8月にトライアルとして3学部の学生を派遣し、2021年の1月にモナシュ大学の学生を受け入れる方向で、今後調整していくことが合意されました。



グリフィス大学とのタンデム交流への期待

(薬学部・関根祐子)

2020年2月に行ったグリフィス大学とのGIPEについての話し合いの結果、GIPEとして、医学部・薬学部・看護学部学生が医学部IPEプログラムの一部に参加することが基本合意されたほか、薬学部からは、グリフィス大学薬学部学生の授業への参加や、病院、薬局、診療所など臨床施設見学の受入れについての提案をいただきました。千葉大学からは、医学部・薬学部・看護学部学生共通の玄鼻IPEプログラムへの参加のほか、薬学部の研究室見学や日本の医療施設や製薬会社の見学などを提案し、相互交流が可能であることが確認されました。また、相互交流の際には両大学のタンデムを組む学生同士がそれぞれ自国の薬学部を案内することで、人的交流が図られることへの期待も聞かれました。2020年夏頃には、グリフィス大学教員が千葉大学を訪問し、千葉大学のプログラムについてさらに意見交換を継続していくことになっています。

また、医学部でも交換留学に向けて具体的に交渉していく

こと、看護学部については今後交換留学が実現できるように関係を継続していくことになりました。



韓国 仁済(インジェ)大学との交流

2019年度は仁済大学から玄鼻IPEの各ステップの見学に、医学、看護学、薬学、教育学を専門とするIPE推進チームのメンバーが来訪されました。酒井センター長のコンサルテーションを受けたほか、IPERC兼務教員の朝比奈真由美医学部附属病院特任教授が仁済大学を訪れて、教員向けに講演とワークショップを行いました。仁済大学では、2020年10月のIPE開始に向けて準備が進められています。



アジアからの学生の受け入れ

タイ コンケン大学看護学部生2名が玄鼻IPE Step1に、中国 香港大学看護学部生4名が玄鼻IPE Step3に参加しました。受け入れた千葉大学の学生たちも英語でコミュニケーションをとり、日本の医療について説明したり、他国の学生の考え方に触れたりしていました。



▶ IPE・IPW研修と地域貢献

2018年度に開始したIPE（専門職連携教育）・IPW（専門職連携実践）研修を2019年度はブラッシュアップして開催しました。

開催実績

IPEカリキュラムマネジメント研修		2019年8月10日（土）、 2019年11月23日（土）の2日間	11名
IPWマネジメント研修・ベーシック研修 理論編		2019年7月28日（日）、 2019年10月19日（土）の2回	合計57名
IPWマネジメント研修実践編		2020年2月10日（月・祝）	7名
IPWベーシック研修 実践編	介護と看護	2019年11月5日（火）	16名
	職種間の理解・コミュニケーション	2019年11月12日（火）	20名
	対立の解決	2019年12月3日（火）	20名
	多職種カンファレンス	2019年12月17日（火）	9名

IPW理論編 e-learning 導入

2020年度の理論編はe-learningサイトを開設します。より多くの方が受講できるようになります。ラーニングサイトは6月オープンの予定です。IPERCホームページから受講申し込みをされた方が利用できます。

地域貢献活動

大学や医療機関などからIPEやIPWに関するコンサルテーションや、講師派遣依頼、研究協力依頼、事業委託を受けています。

【コンサルテーション実績】7件 亥鼻IPEの見学、教育行政への提言など

【講師派遣】10件 他大学、学会、企業、公益法人などから職員・学生・住民・受験生等へのIPE関連の講義・セミナー・研修の講師

【研究協力依頼】17件 CICS29（専門職連携実践能力、自己評価尺度）の使用許可

【事業委託】1件 千葉県からの受託研修「認知症に関わる専門職の多職種協働研修」



令和2年度 研修のお知らせ

詳しくはHPをご確認の上、お申し込みください。
<https://iperc.jp>



IPE カリキュラムマネジメント&授業開発研修

【費用】100,000円（2日間）

【日程】第1日 8月23日（日）／第2日 11月23日（月）



IPW マネジメント研修

理論編 【費用】10,000円 e-learning 6月～受講可

実践編 【費用】20,000円 【日程】12月26日（土）



IPW ベーシック研修

理論編 【費用】10,000円 e-learning 6月～受講可

実践編 【費用】1講座 6,000円

【日程】10月13日（火） 職種間の理解
10月20日（火） チーム内の効果的なコミュニケーション
11月10日（火） チームワークの促進スキル
11月17日（火） 対立の解決
12月 8日（火） 多職種カンファレンス

▶ 亥鼻IPEの教育・研究

医学部・医学教育研究室に教授就任

IPERC兼務教員である医学部の伊藤彰一先生が医学教育研究室の教授に就任されました。

伊藤彰一教授のご挨拶

2019年5月より大学院医学研究院医学教育学の教授を拝命し、医学部医学教育研究室長ならびに医学部附属病院総合医療教育研修センター長を務めております。医学部において卒前教育を、医学部附属病院において卒前臨床教育ならびに卒後研修を担当しており、シームレスな医学教育の実現を目指しています。



入学当時の学生は、医療の現場を詳しくは知りません。彼らは亥鼻IPEなどを経験して医療の現場を知り("Knows")、次いで、現場の中でどのように行動していくかを知ります("Knows How")。やがてその知識・理解をふまえて模擬的に医療の実践を行えるようになり("Shows How")、最終的に医療を効果的に実践できること("Does")を目指します。亥鼻IPEのカリキュラムは、このような能力発達を効果的に支援できるように工夫されています。

医療は一人では実践できません。チームで協働できる人材、自らの実践を振り返って高めることが出来る人材の育成を目指します。

外部評価

2019年度は5名の外部評価委員の評価を受けました。詳細はIPERCのHP上で「事業報告書」にて公開しています。

	IPERC 自己評価	外部評価委員評価			
		A 評価	B 評価	C 評価	D 評価
1. 教育	B		5名		
2. 実践・社会貢献	A	4名	1名		
3. 研究	B		5名		
4. 組織運営	B	1名	4名		

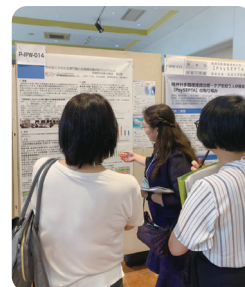
A: 計画より進捗している B: 計画通り進捗している
C: 計画よりやや遅れがある D: 計画よりかなり遅れがある

研究成果

亥鼻IPE、IPW研修等の成果研究を国内外の学会や学会誌で発信しています。

2019年度実績

国際学会発表2件、国内学会発表1件、学会特別講演1件など



亥鼻IPEの教育活動実績 (2019年度)

本年度、亥鼻IPEを受講した学生は、総計1,257名でした。

[内訳 (名)]

Step1: 340(医学部123、看護学部82、薬学部89、工学部46)

Step2: 282(医学部116、看護学部81、薬学部85)

Step3: 261(医学部122、看護学部81、薬学部51)

Step4: 329(医学部118、看護学部160、薬学部51)

クリニカルIPE: 45(医学部14、看護学部14、薬学部17)

これらの亥鼻IPEには、延べ221名の各学部教員・附属病院の専門職が指導に携わりました。

[内訳 (名)]

Step1: 47(医学部18、看護学部9、薬学部7、工学部13)

Step2: 24(医学部12、看護学部6、薬学部5)

Step3: 30(医学部12、看護学部11、薬学部7)

Step4: 66(医学部2、看護学部7、薬学部5、医学部附属病院医師16、同看護師11、同薬剤師5、同作業療法士3、同理学療法士3、同言語聴覚士2、同社会福祉士7、同心理カウンセラー1、同管理栄養士4)

クリニカルIPE: 54(医学部2、看護学部8、薬学部3、医学部附属病院医師13、同看護師13、同薬剤師15)

またStep1、Step2では、医学部附属病院をはじめ、千葉市内の病院その他の保健医療施設に、学生の見学実習でお世話になりました。

[内訳 (施設数)]

Step1: 病院7

Step2: 病院8、診療所14、薬局17、訪問看護ステーション5、保健機関・介護福祉施設2

[発行] 千葉大学大学院看護学研究科附属 専門職連携教育研究センター

〒260-8672 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 <https://www.iperc.jp> ☎043-226-2614 ✉ inohana-ipe@office.chiba-u.jp

2020年4月1日 通巻2号